

～生徒指導だより～

# ただしく つよく

第2号  
R4. 5. 27  
生徒指導部

～目指す幼児児童生徒～

- 心身ともに健康で、豊かな気持ちで活動ができる
- 自分と知り、友だちと仲良く、他者と尊重できる
- 自ら学び、日本語の力と学力をしっかりと身につける
- 自分の責任をしっかりと果たすことができる

## <命の大切さ学習教室>

5月24日（火）に、命の大切さ学習教室が行われました。

この教室は、秋田県警が担当する出前講座で、交通事故で大切な人を亡くした交通事故被害者遺族の会から講師を招き、交通安全について考える貴重な機会です。本校では今年度秋田きらり支援学校と初めて共同で開催することができ、中学部生と高等部生、高等部専攻科生が参加しました。



当日の講話は、当時小学1年生だった息子さんを学校帰りの事故で亡くした県内の女性が講師を務め、その悲しみを丁寧にお話いただきました。実際の被害者遺族からお話を直接聞くことは貴重で、中には涙ぐむ生徒もあり、改めて交通安全の大切さ、命の大切さを感じたのではないのでしょうか。本校には、将来自動車運転免許取得を希望している生徒も多くいることから、その責任の大きさについて考える機会になってくれればと思います。

## <第1回避難訓練について>

5月25日（水）、第1回避難訓練が行われました。今回は、授業時間中に大地震が発生し、それに伴い聴覚支援学校棟2階被服室から火災が発生したという想定で行いました。これまでの訓練では、聴覚支援学校棟からは比較的距離のあるランチルーム厨房からの出火想定が多く、決められた避難経路で落ち着いた避難ができていました。今回は、自分たちが普段生活している場所からの出火想定ということで、状況に応じて避難経路を選択し、速やかに避難行動がとれるか、確実に校舎内の全員が避難できるかということが求められました。幼児児童生徒は、放送や文字情報、教師の指示をよく聞き、約束事を守って迅速に避難することができました。消防士の方からは、「コロナ禍で生活に制限がある中でも災害は起こりうるため、備えをしっかりとしてほしい。」とお話がありました。日頃から防災意識をもって生活しましょう。

